

(第3種郵便物認可)

サクラ白慢の街再び

桜が丘住民の「さくら守」

植樹や剪定など取り組み

西区桜が丘は、その名の通り「さくら守」を発足させた。植物に詳しいメンバーもおり、専門的な知識も学びながら、各戸の庭に、道沿いから、樹木の手入れや剪定、倒壊危険木の伐採などに取り組み、その数は2500本以上。植樹には、県民緑

税による「県民まちなみ緑化事業」や、「宝くじ桜」を活用。今年3月には、桜が丘小0本まで減少した。もう一学校や木津小学校の児童ら度、サクラに包まれた街にしたい。2年前、自治会員24人が、卒業記念として、50本のサクラの苗木を植えた。



さくら守が植樹した桜=いずれも西区桜が丘中町3

羽根田隆司代表(67)は「1200坪にわたって延びる幅8坪の遊歩道がこの街の誇り。そこをサクラのトンネルにしたい。そんな日がくるよう、活動を続けていきたい」と力を込める。

さくら守のメンバー



地域を愛し、守り、育てる

自分たちが暮らす地域を愛し、守り、育てる。西マンスリーの取材を続けていて、この思いにあふれた多くの人たちに出会った。その中から二つのまちづくり団体を紹介する。

(喜田美咲)



ひと・まち・ところ